



伊藤小児科・内科医院 病児保育園

おひさまだより

令和5年2月1日発行

横手市婦気大堤字谷地添 7-1 (伊藤小児科・内科医院敷地内)

TEL 0182-23-6477 (予約・キャンセル・お問合せ専用)

ホームページ <http://www.ohisama-itocl.net/>



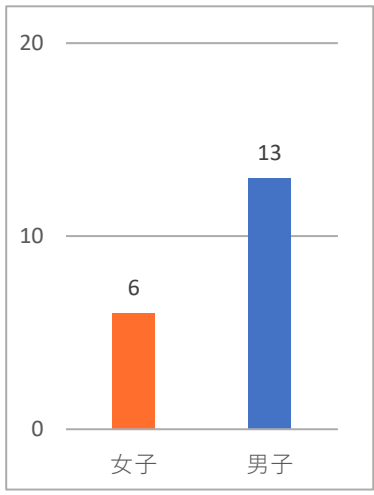
2月3日は節分ですね。昔から季節の変わり目には邪気(おに)が生じると言われ、それを追い払うために豆まきを行うと言われています。みんなで厄払いをして幸せを招き入れましょう!

今月も厳しい寒さが続き、感染症が流行する時期です。引き続き手洗いうがいを丁寧に行うと共に、乾燥にも十分気をつけていきたいですね。

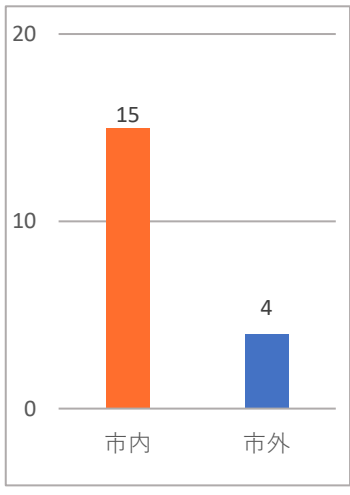
先月の病児保育園おひさまのご利用状況は以下の通りです。伊藤小児科・内科医院の感染症状況もあわせてお知らせいたしますので、どうぞご参考にしてください。

病児保育園おひさま 利用者状況 1月分

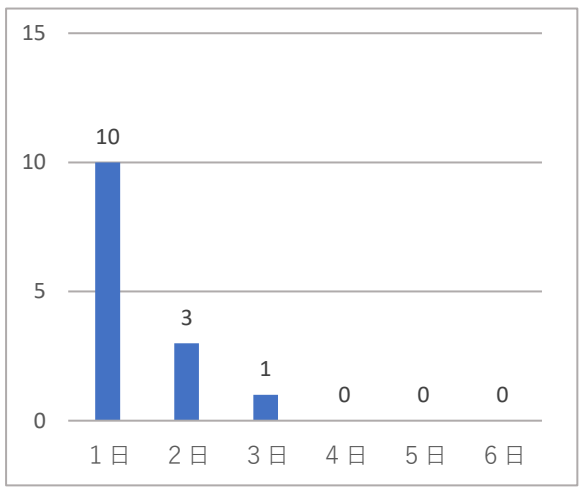
〈性別〉



〈住まい〉



〈連続利用日数〉



〈疾患名〉

	0歳児	1歳児	2歳児	年少	年中	年長	小学生	合計
風邪	2	2	0	0	0	0	0	4
ノロウイルス	4	6	2	0	0	0	0	12
胃腸炎	2	0	0	0	0	0	1	3
合計	8	8	2	0	0	0	1	19

※ 併発している疾患もすべて含む。



伊藤小児科・内科医院 感染症情報 1月分

	第一週	第二週	第三週	第四週	第五週	合計
インフルエンザA	2	3	2	1	1	9
インフルエンザB	0	0	0	0	0	0
RSウイルス	6	4	9	2	0	21
咽頭結膜熱	0	1	1	6	2	10
溶連菌感染症	1	0	0	0	1	2
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0
便アデノウイルス	0	1	3	2	0	6
ノロウイルス	0	7	27	53	11	98
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0
ヒトメタニューモウイルス	5	4	3	5	0	17
合計	14	20	45	69	15	163



感染性胃腸炎時の嘔吐処理の仕方



- ①室内で子どもが嘔吐した場合、部屋の窓を開け換気します。
- ②処理を行う方は、必ずマスク、手袋、エプロンを着用します。
- ③消毒薬に浸したペーパータオルや新聞紙で嘔吐物を覆います。
- ④嘔吐物を覆った紙は外側から内側に包み込むように吹き取り、ひとまとめにしてビニール袋に入れます。
- ⑤再度消毒液を用いて床を拭き、使用した手袋とともに密閉して廃棄します。
- ⑥嘔吐物で汚染した衣類を破棄しない場合は、家族の洗濯物とは別にし、塩素系の漂白剤で消毒してから洗濯をするか、熱水（85℃）で1分間消毒を行うなどして、家族が感染しないようにします。



伊藤先生コラム



感染性胃腸炎が流行しています

1月に入り、寒い日が続いています。空気が乾燥しウイルスにとっては好環境の季節です。ノロウイルスを中心に感染性胃腸が増加しています。また、インフルエンザの流行も始まりました。

基本的な感染対策に加え、栄養補給や十分な睡眠により感染症に負けない体力をつけましょう。胃腸炎の時は、脱水に注意が必要です。嘔吐、下痢があり食欲がない場合でも、経口補水液を少量ずつ摂取させ脱水を防止しましょう。

小学校入学に向け、まだMRワクチンを接種していない年長のお子さんは4月まで接種をしてください。できれば同時におたふくかぜワクチンと3種混合も接種することをお勧めします。